

編集後記

環境特集は毎年の特集テーマとなっていて、環境関連の特集も多いですが、地球温暖化対策に絞った特集は今回が初めてとなりました。地球温暖化対策は広範な分野に及びますが、建設施工に限定すれば編集範囲は限られてきます。

巻頭言は、東京大学生産技術研究所の沖大幹教授に執筆をお願いしました。「気候変動の光と影」と題して、懐疑論にも言及しながら、人為起源の二酸化炭素排出による地球温暖化の蓋然性、その気候変動による社会へのさまざまな影響は客観的に推計可能としながらも、大所高所の見地からの対応を薦められています。

行政情報は、国土交通省の建設施工の地球温暖化対策について、主に建設機械のCO₂削減対策についての執筆を頂きました。

特集報文では、業界としての取組み、また建設機械メーカ、施工会社個々の取組みを紹介して頂きました。

業界の取組みとしては、建設3団体の温暖化防止活動について、JCMAの製造業部会・機械部会の取組み、そして、情報化施工による温室効果ガスの排出抑制について執筆をお願いしました。

建設機械メーカでは、最近、ハイブリッド建機がスポットを浴びていますが、既に数多く紹介されています。そこで、本号ではカーボンニュ-

トラルのバイオ燃料(BDF)導入プロジェクト、林業機械へのカーボンオフセット適用事例、建機の省燃費運転について紹介しました。

施工会社では、ハイブリッドシステムを搭載した環境配慮型深層混合処理船の開発、ハーモニカ工法による立体工事をモデルとしたCO₂排出量の評価、常温施工型の加熱アスファルト混合物マイルドミックスを取上げました。

「交流のひろば」は、地球温暖化対策と密接な関係がある資源エネルギーについて、おどろきの話をシステム工学研究所の中澤直樹氏にして頂きました。

先日の名古屋市での生物多様性条約締約国会議(COP10)は、遺伝資源の利益配分を定めた「名古屋議定書」と、2010年以降の保全目標「愛知ターゲット」の2主要議題を採択し閉幕しました。京都議定書に続き、日本の地名を付けた議定書が2つになり、今後、地球環境保全のため日本の責任ある行動が求められています。

さて、5月から編集作業に取組み、方針、素案、計画の各段階を経て、漸く校正も概ね終了、発刊に向けて最終工程に入っています。最後になりましたが、お忙しいなか執筆頂いた方々、話題を提供して頂いた方々、その他編集に協力して頂いた方々有難うございました。厚く御礼申し上げます。

(岡本・石倉)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
加納研之助	桑垣 悦夫
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長

岡崎 治義 (株)東京建設コンサルタント

編集委員長代行

太田 宏 三井造船(株)

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
松本 久	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
田岡 秀邦	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
松澤 享	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

12月号「鉄道における建設施工特集」予告

- ・鉄道整備におけるPPP等による民間資金の活用方策
- ・我が国鉄道システムの海外展開
- ・北海道新幹線 津軽蓬田トンネル (SENS工法)の施工
- ・ドバイメトロでの大型建設機械による大規模歩道橋の急速施工
- ・トルコボラス海峡横断鉄道トンネルの施工
- ・九州新幹線 松原線路橋の施工
- ・大断面鋼鉄道箱桁橋の送出し架設
- ・京急蒲田駅付近連続立体交差事業における直接高架工法の適用
- ・東北縦貫線工事
- ・九州新幹線 熊本総合車両基地の盛土工事の施工
- ・都市部における鉄道線増連続立体交差工事の一例

No.729 「建設の施工企画」 2010年11月号

〔定価〕1部840円(本体800円)

年間購読料9,000円

平成22年11月20日印刷

平成22年11月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三條西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上の
の広告 は (株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8 (精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL : info@kyoeitushin.co.jp

担当 本社編集部 宗像 敏